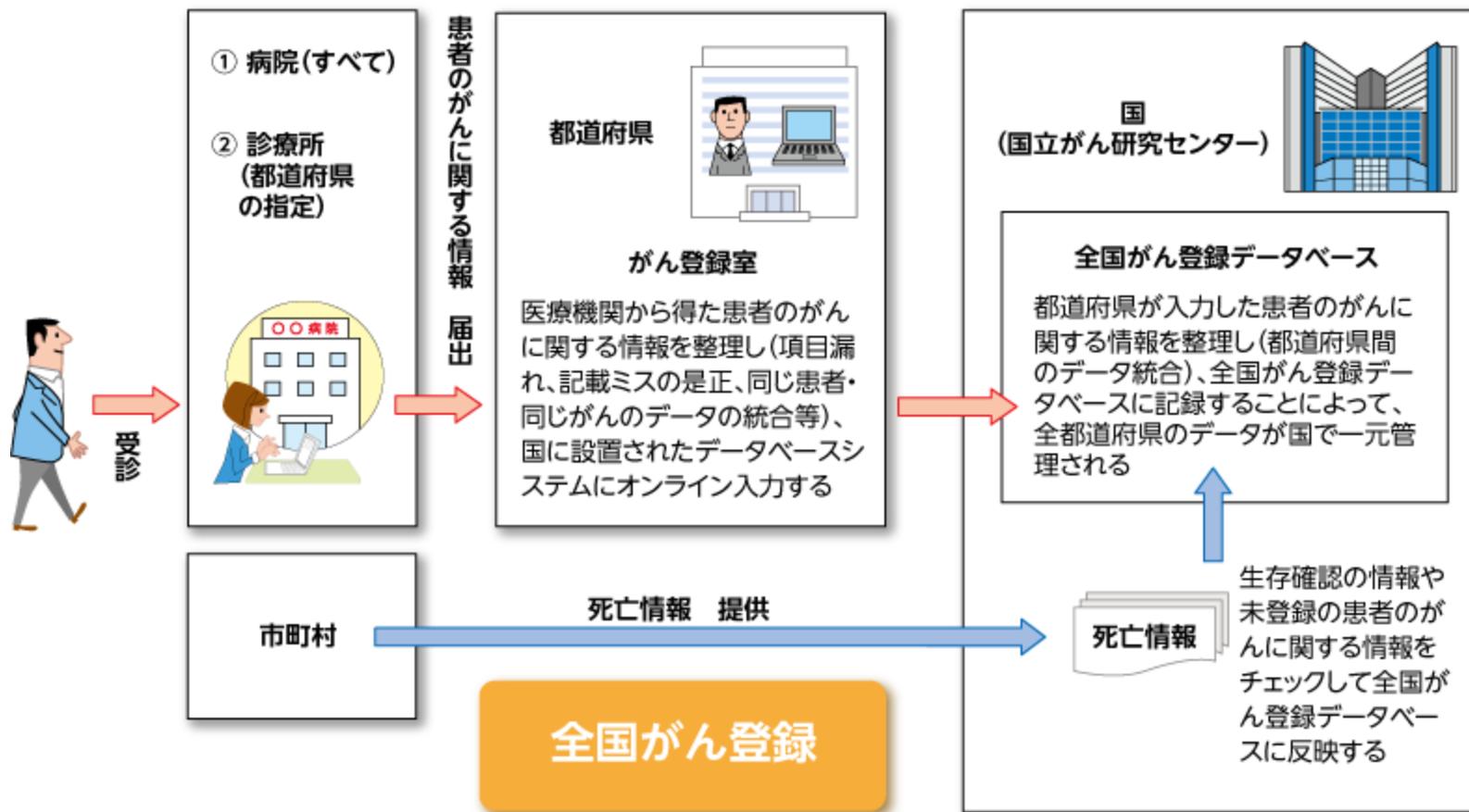


# 宮城県がん登録情報の集計結果

宮城県立がんセンター研究所  
がん疫学・予防研究部 部長  
（兼）宮城県がん登録室 室長  
金村 政輝

# 平成28年、がん登録推進法が施行 全国がん登録が開始



# 本日配布した資料

## 市区町村別罹患数

→市区町村での推移を把握

ページ

1 図1 市区町村別・部位別・診断年別がん罹患数と増減率（2000-2019年）

～

55 図2-8 市区町村別・年代別・診断年別がん罹患数と増減率（2000-2019年，子宮体部）

## 患者住所地別・受診医療機関の内訳

→受診動向の把握

61 図3-1 患者住所地別・受診医療機関の内訳（2016-2019年，初診）

～

72 図4-5 患者住所地別・受診医療機関の内訳 上位10施設（2016-2019年，薬物治療）

## 年齢調整罹患率・標準化罹患比

→人口・年齢構成の違いを考慮した比較検討

74 図5-2 保健所別・部位別・診断年別がん年齢調整罹患率と標準化罹患比

～

82 図5 市区町村別・部位別・診断年別がん年齢調整罹患率と標準化罹患比

## 年齢階級別罹患率

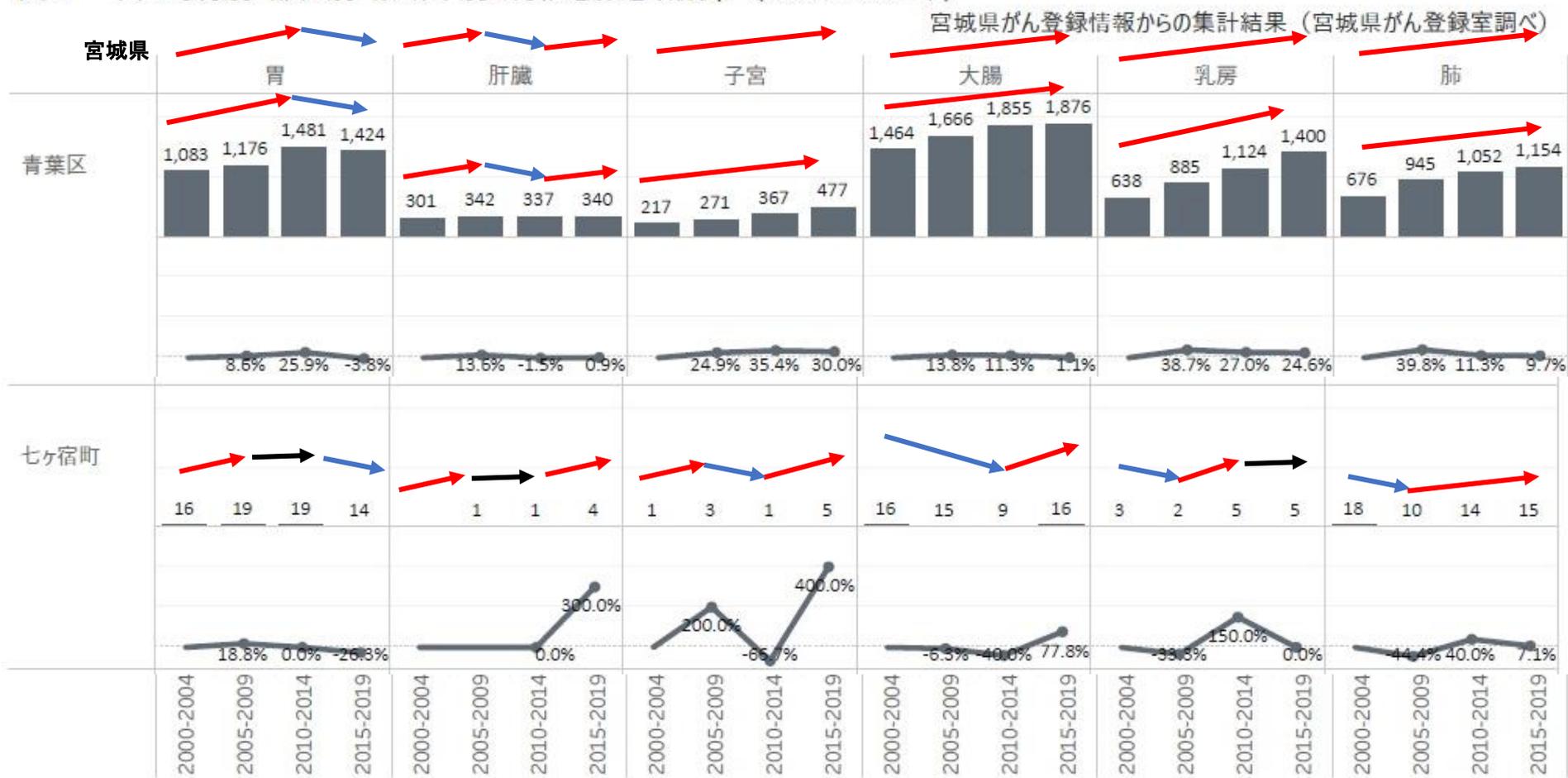
→増減している部位・年代の把握

94 図6-2 保健所別・部位別・診断年別がん年齢階級別罹患率（人口千対）

～

139 図6 市区町村別・部位別・診断年別がん年齢階級別罹患率（人口千対）

図1 市区町村別・部位別・診断年別がん罹患数と増減率（2000-2019年）



• 5年毎・6部位の集計結果

5年毎…小規模な自治体での把握が可能なように。

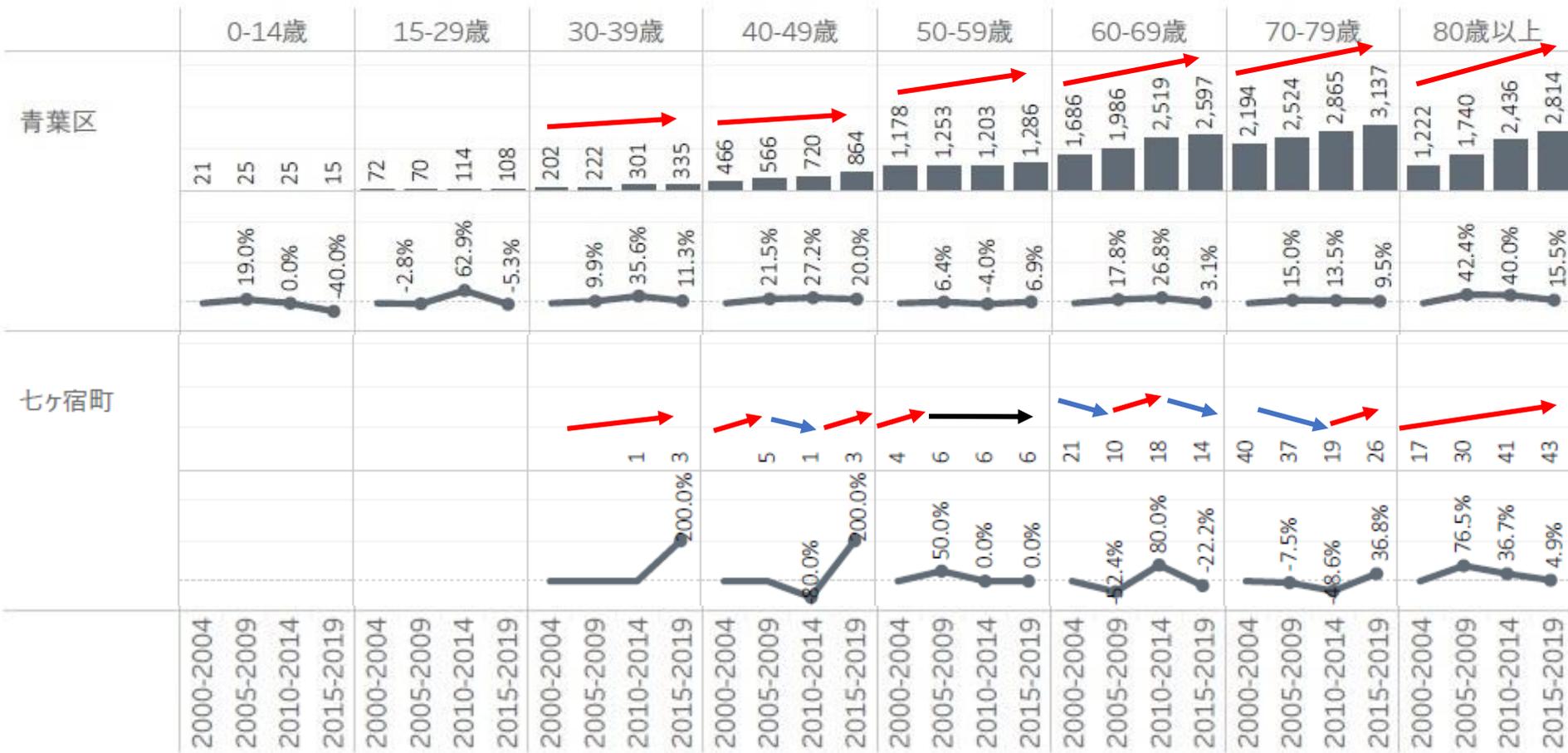
6部位…男性では約5割、女性では約6割を占める。

• 青葉区 …胃と肝臓は増加から減少へ。子宮、大腸、乳房、肺は増加傾向。

• 七ヶ宿町…少ない値での増減で判断は難しいが、おおよその傾向を把握することは可能。

図2 市区町村別・年代別・診断年別がん罹患数と増減率（2000-2019年）

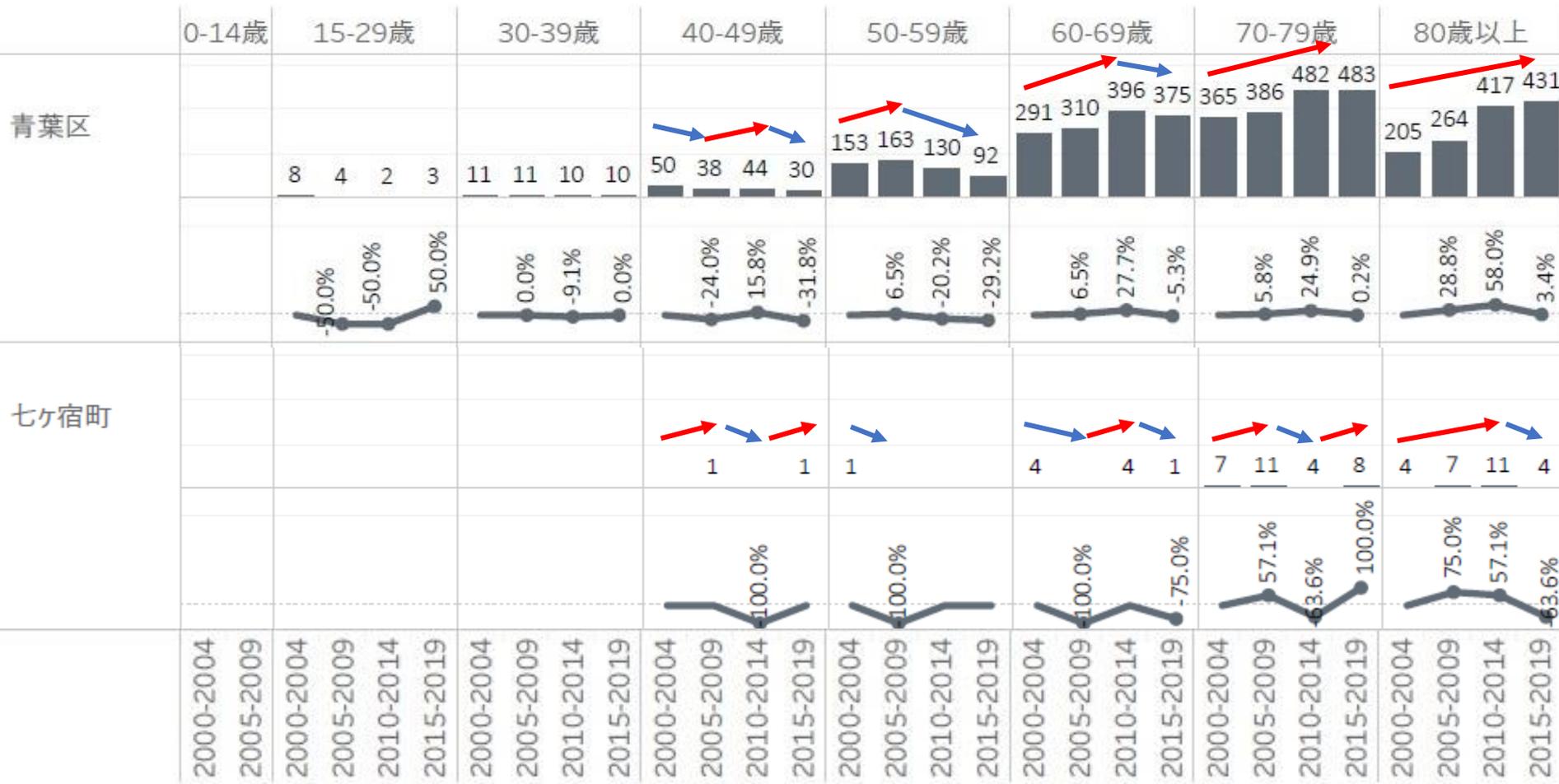
宮城県がん登録情報からの集計結果（宮城県がん登録室調べ）



- 青葉区 …30代以上で増加し、60代以上で顕著。15～29歳でも相当数の方が罹患。
- 七ヶ宿町…80歳以上で増加。他の年代は増減があるが、減少しているわけではない。

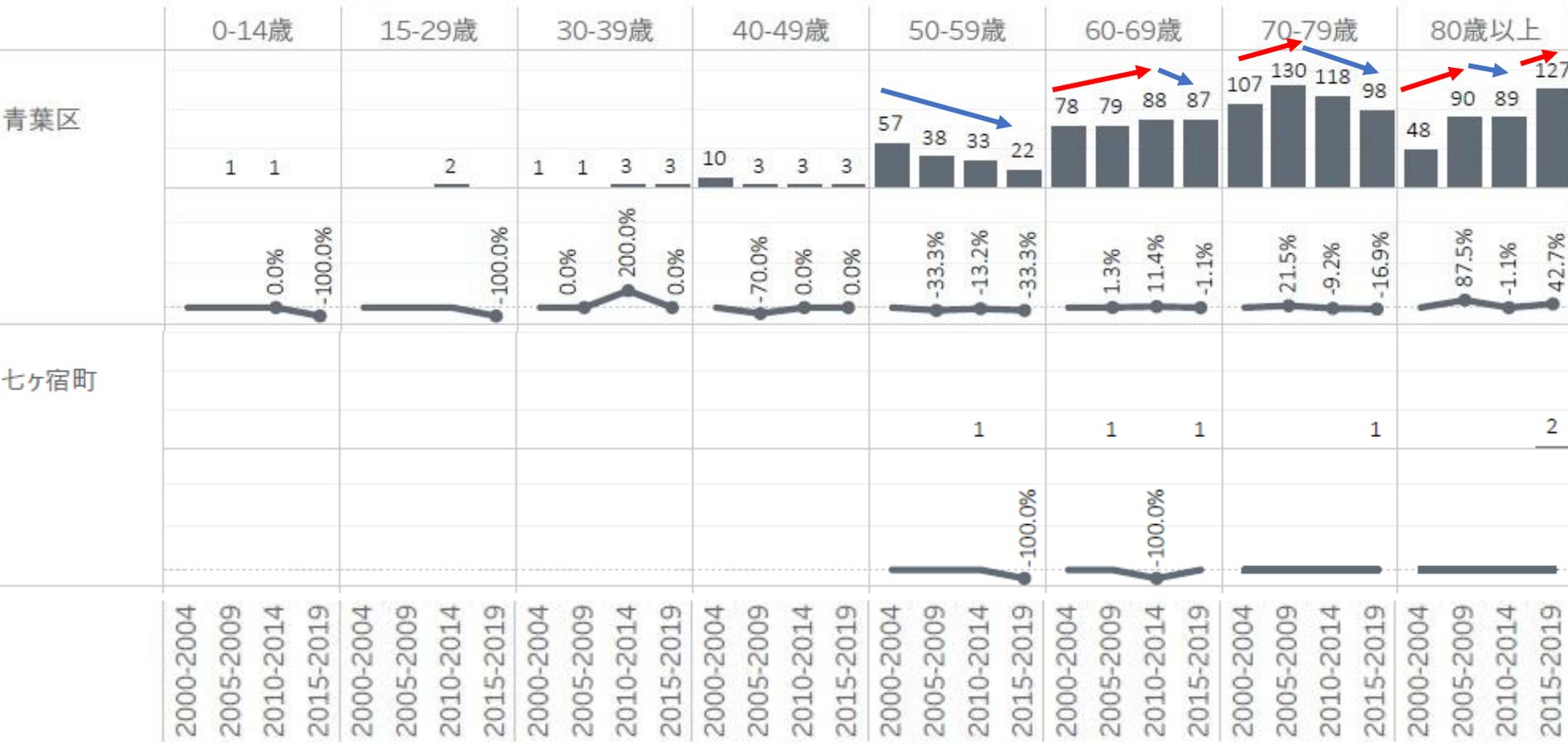
図2-1 市区町村別・年代別・診断年別がん罹患数と増減率（2000-2019年，胃）

宮城県がん登録情報からの集計結果（宮城県がん登録室調べ）



- 青葉区 …40代から増加し、70代が最も多い。40～60代で増加から減少に転じた。そのため、近年、全体として胃がんが減少。
- 七ヶ宿町…増減はあるが、近年、減少傾向。

図2-3 市区町村別・年代別・診断年別がん罹患数と増減率（2000-2019年，肝臓）  
宮城県がん登録情報からの集計結果（宮城県がん登録室調べ）



- 青葉区 …50代から増加し、70代以上が最も多い。70代以下で増加から減少に転じた。そのため、近年、全体として肝臓がんが減少。
- 七ヶ宿町…5年間で0～2人で推移。少ないが故に年に1人ずつ発生すれば多いとわかる状況。

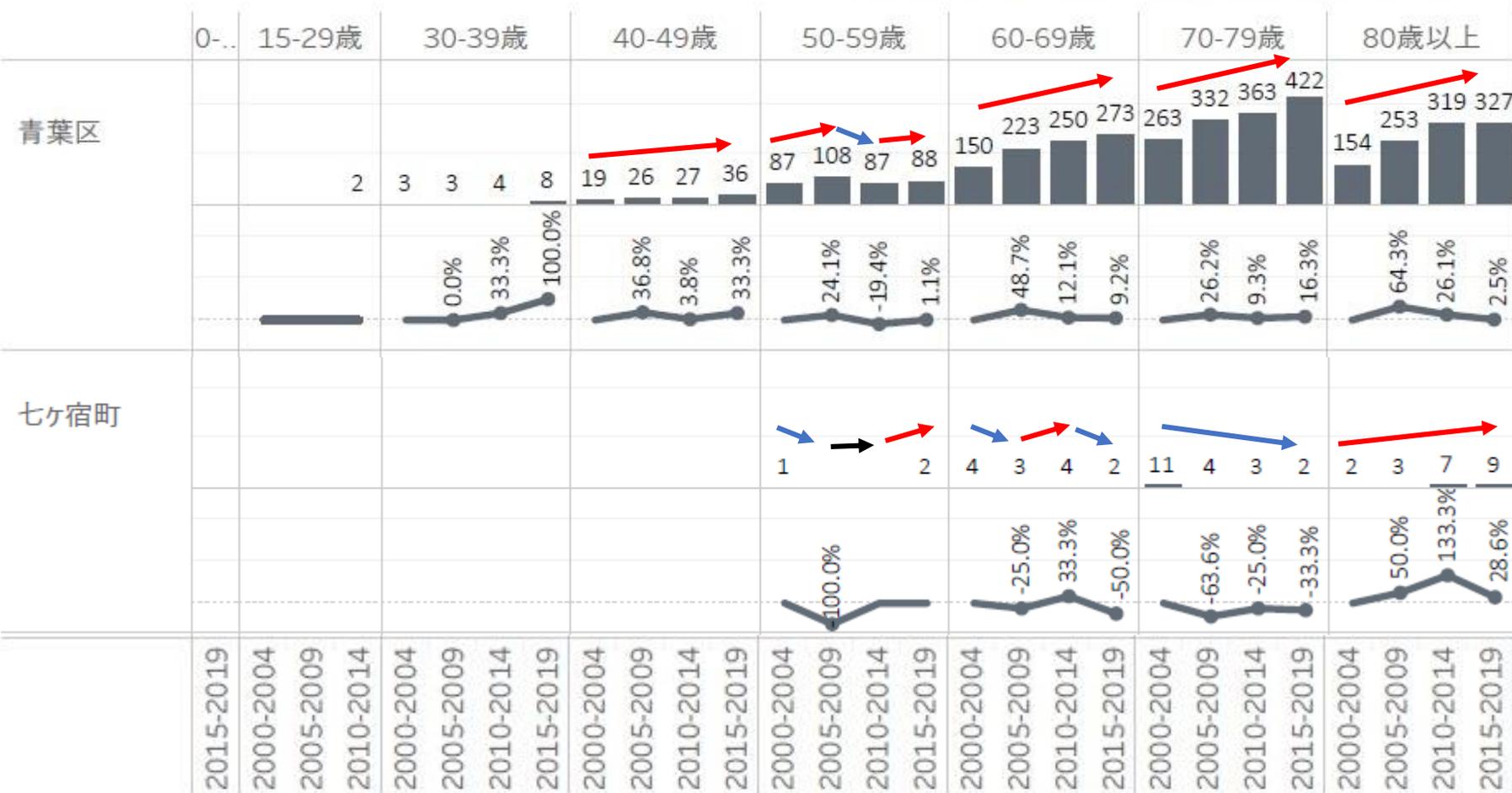
図2-2 市区町村別・年代別・診断年別がん罹患数と増減率（2000-2019年，大腸）

宮城県がん登録情報からの集計結果（宮城県がん登録室調べ）



- 青葉区 …40代から増加し、70代が最も多い。多くの年代で増加傾向だが、50代で減少。全体としては増加傾向だが、年代により傾向が異なる。
- 七ヶ宿町…80歳以上で増加傾向。他の年代では増減あり、5年間で0～3人程度。

図2-4 市区町村別・年代別・診断年別がん罹患数と増減率（2000-2019年，肺）  
宮城県がん登録情報からの集計結果（宮城県がん登録室調べ）



- 青葉区 …40代から増加し、70代が最も多い。ほぼすべての年代で増加傾向。  
そのため、全体として肺がんが増加。
- 七ヶ宿町…70代で減少傾向、80歳以上で増加傾向。他の年代では増減あり、5年間で0～2人程度。

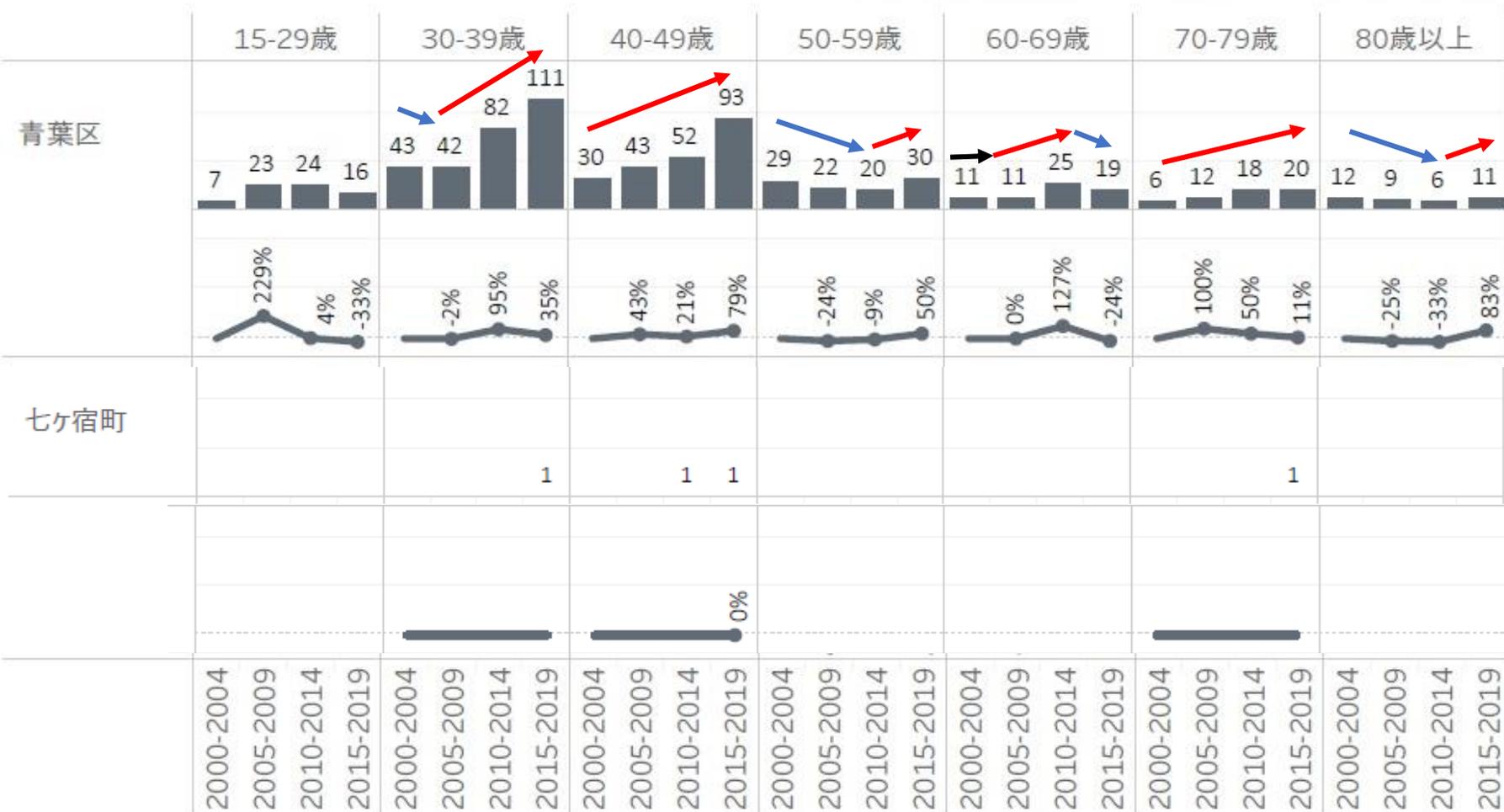
図2-5 市区町村別・年代別・診断年別がん罹患数と増減率（2000-2019年，乳房）

宮城県がん登録情報からの集計結果（宮城県がん登録室調べ）



- 青葉区 …30代から増加し、40代が最も多い。ほぼすべての年代で増加傾向。  
そのため、全体として乳がんが増加。
- 七ヶ宿町…5年間で0～2人で推移。少ないが故に年に1人ずつ発生すれば多いとわかる状況。

図2-7 市区町村別・年代別・診断年別がん罹患数と増減率（2000-2019年，子宮頸部）  
宮城県がん登録情報からの集計結果（宮城県がん登録室調べ）



- 青葉区 …30代以上から増加し、30代～40代が最も多い。30～40代で増加傾向。15～29歳の若年でも罹患数が多い。そのため、全体として子宮頸がんが増加。
- 七ヶ宿町…5年間で0～1人で推移。少ないが故に年に1人ずつ発生すれば多いとわかる状況。

図2-8 市区町村別・年代別・診断年別がん罹患数と増減率（2000-2019年，子宮体部）  
宮城県がん登録情報からの集計結果（宮城県がん登録室調べ）



- 青葉区 …40代から増加し、50代が最も多い。40代以上の多くの年代で増加傾向。そのため、全体として子宮体がんが増加。
- 七ヶ宿町…5年間で0～2人で推移。少ないが故に年に1人ずつ発生すれば多いとわかる状況。

- 罹患数で市区町村の推移を把握することは可能だが、人口規模・年齢構成の違いがあるため、直接の比較は難しい。
- 年齢調整罹患率  
5歳階級毎に年齢階級別罹患率を計算し、モデルとなる基準人口（今回は世界人口を使用）に置き換えて、人口10万人当たりの罹患数に計算し直したもの。  
何人という人数で算出。
- 標準化罹患比  
基準となる人口集団を定め、その集団における年齢階級別罹患率を使い、対象集団での期待罹患数を計算。これを分母とし、実際に観察された罹患数を分子として算出した値。  
本集計では、宮城県全体を基準（100）とし、100より大きいときは、期待罹患数よりも実際に観察された罹患数が多く、100より小さいときは観察された罹患数が少なかったことを示す。集計値を見る際には、100以上、または、100未満が続いているのかどうか注目すると傾向を把握しやすい。
- 年齢階級別罹患率  
各年齢階級の罹患率を計算。各年齢階級の人口で割った値であるため、保健所単位・市区町村などの地域間の比較や推移の比較の際、どの部位・どの年齢階級でがんの罹患が多かったのかを確認することが可能

図5-2 保健所別・部位別・診断年別がん年齢調整罹患率と標準化罹患比 - 女性

宮城県がん登録情報からの集計結果（宮城県がん登録室調べ）

\*年齢調整罹患率は世界人口を基準人口とし、標準化罹患比は宮城県を基準（100）とした。

\*人口は対象期間の中間年に当たる年の国勢調査人口を用い、2018-2019年の人口は2015年及び2020年の国勢調査人口から按分により算出した。

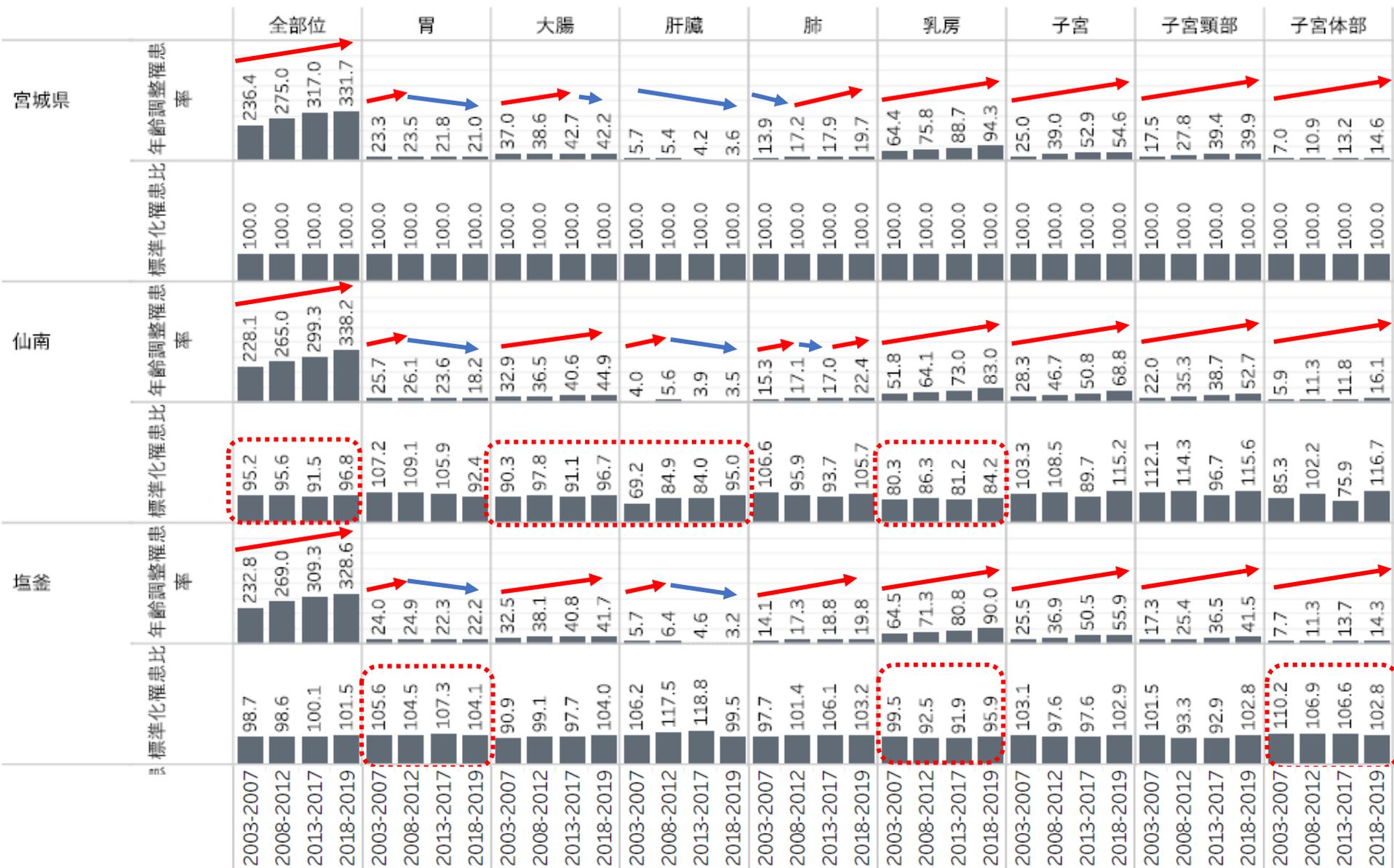


図5-2 保健所別・部位別・診断年別がん年齢調整罹患率と標準化罹患比 - 女性

宮城県がん登録情報からの集計結果（宮城県がん登録室調べ）

\*年齢調整罹患率は世界人口を基準人口とし、標準化罹患比は宮城県を基準（100）とした。

\*人口は対象期間の中間年に当たる年の国勢調査人口を用い、2018-2019年の人口は2015年及び2020年の国勢調査人口から按分により算出した。

保健所	標準化罹患比	年齢調整罹患率	部位																	
			全部位	胃	大腸	肝臓	肺	乳房	子宮	子宮頸部	子宮体部									
宮城県	2003-2007	98.7	232.8	95.2	228.1	107.2	25.7	90.3	32.9	106.6	14.1	64.5	103.1	25.5	101.5	17.3	112.1	22.0	85.3	7.7
	2008-2012	98.6	269.0	95.6	265.0	109.1	26.1	97.8	36.5	106.6	17.3	71.3	103.1	36.9	101.5	25.4	114.3	35.3	102.2	11.3
	2013-2017	100.1	309.3	91.5	299.3	105.9	23.6	91.1	40.6	93.7	18.8	80.8	97.6	50.5	92.9	36.5	96.7	38.7	75.9	13.7
	2018-2019	101.5	328.6	96.8	338.2	92.4	18.2	96.7	44.9	105.7	19.8	90.0	102.9	55.9	102.8	41.5	115.6	52.7	116.7	14.3
仙南	2003-2007	105.6	24.0	107.2	25.7	107.2	25.7	90.3	32.9	106.6	14.1	64.5	103.1	25.5	101.5	17.3	112.1	22.0	85.3	7.7
	2008-2012	104.5	24.9	109.1	26.1	109.1	26.1	97.8	36.5	106.6	17.3	71.3	103.1	36.9	101.5	25.4	114.3	35.3	102.2	11.3
	2013-2017	107.3	22.3	105.9	23.6	105.9	23.6	91.1	40.6	93.7	18.8	80.8	97.6	50.5	92.9	36.5	96.7	38.7	75.9	13.7
	2018-2019	104.1	22.2	92.4	18.2	92.4	18.2	96.7	44.9	105.7	19.8	90.0	102.9	55.9	102.8	41.5	115.6	52.7	116.7	14.3
宮城県	2003-2007	37.0	37.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	5.7	100.0	13.9	64.4	25.0	54.6	17.5	100.0	100.0	100.0	100.0	7.0
	2008-2012	38.6	38.6	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	5.4	100.0	17.2	75.8	39.0	54.6	27.8	100.0	100.0	100.0	100.0	10.9
	2013-2017	42.7	42.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4.2	100.0	17.9	88.7	52.9	54.6	39.4	100.0	100.0	100.0	100.0	13.2
	2018-2019	42.2	42.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	3.6	100.0	19.7	94.3	54.6	54.6	39.9	100.0	100.0	100.0	100.0	14.6

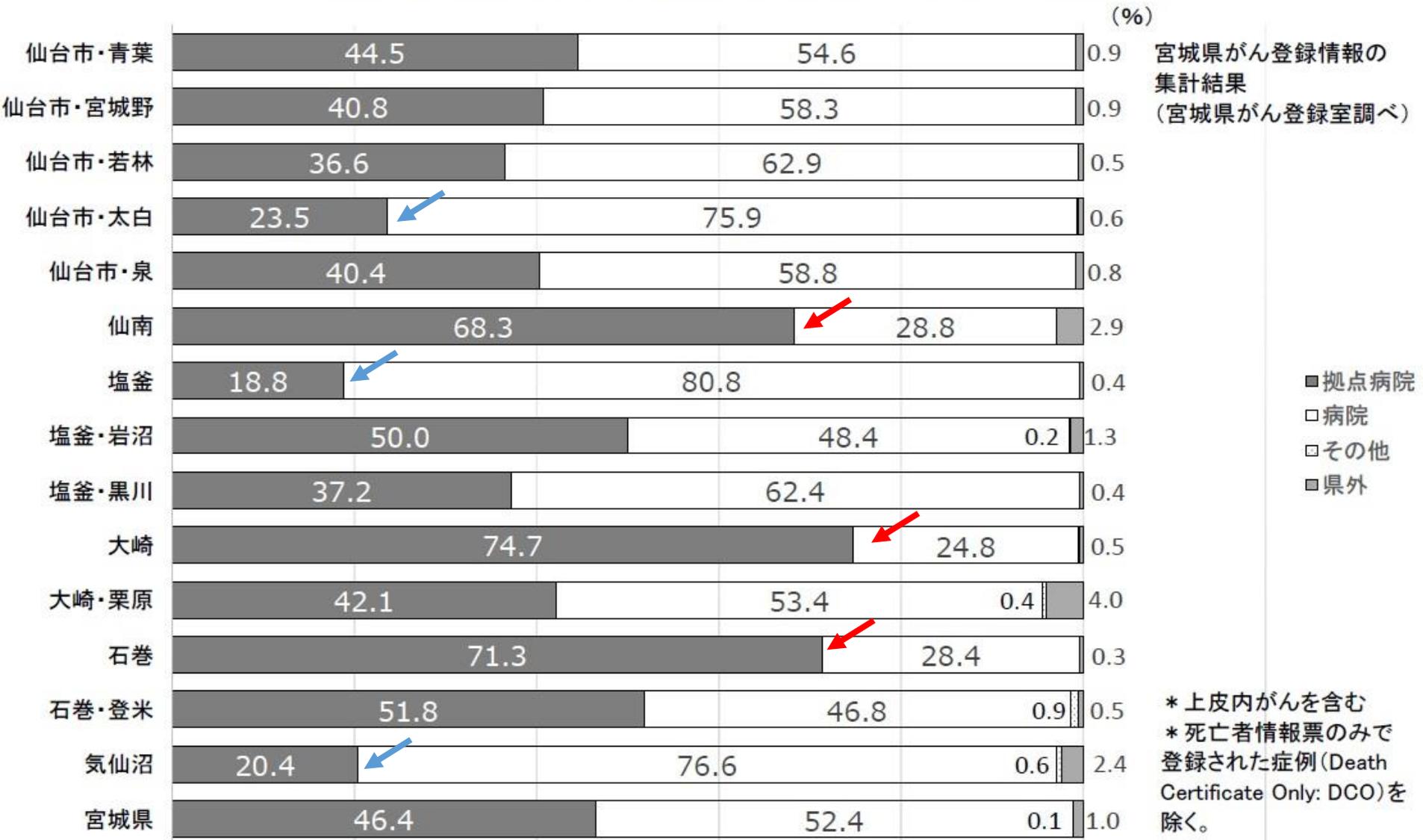
図6-2 保健所別・部位別・診断年別がん年齢階級別罹患率（人口千対） - 子宮頸部, 女性

宮城県がん登録情報からの集計結果（宮城県がん登録室調べ）

\*人口は対象期間の中間年に当たる年の国勢調査人口を用い、2018-2019年の人口は2015年及び2020年の国勢調査人口から按分により算出した。

	0_14	15_29	30_39	40_49	50_59	60_69	70_79	80_
宮城県								
	0.00	0.11	0.59	0.36	0.19	0.17	0.15	0.19
0.00	0.24	0.84	0.59	0.30	0.22	0.23	0.20	
0.00	0.30	1.30	0.89	0.38	0.27	0.23	0.15	
0.00	0.24	1.27	0.99	0.48	0.27	0.28	0.16	
仙南								
	0.00	0.21	0.83	0.32	0.15	0.14	0.11	0.21
0.00	0.41	1.24	0.56	0.22	0.17	0.23	0.17	
0.00	0.30	1.19	0.87	0.41	0.26	0.24	0.12	
0.00	0.59	1.36	1.23	0.44	0.29	0.17	0.17	
塩釜								
	0.00	0.11	0.56	0.29	0.26	0.23	0.18	0.15
0.00	0.23	0.73	0.53	0.25	0.27	0.27	0.16	
0.00	0.29	1.16	0.85	0.32	0.27	0.16	0.22	
0.00	0.23	1.30	0.95	0.66	0.30	0.27	0.05	
2003-2007	0.00	0.11	0.56	0.29	0.26	0.23	0.18	0.15
2008-2012	0.00	0.23	0.73	0.53	0.25	0.27	0.27	0.16
2013-2017	0.00	0.29	1.16	0.85	0.32	0.27	0.16	0.22
2018-2019	0.00	0.23	1.30	0.95	0.66	0.30	0.27	0.05
2003-2007	0.11	0.59	0.36	0.19	0.17	0.15	0.19	0.16
2008-2012	0.24	0.84	0.59	0.30	0.22	0.23	0.20	0.15
2013-2017	0.30	1.30	0.89	0.38	0.27	0.23	0.15	0.16
2018-2019	0.24	1.27	0.99	0.48	0.27	0.28	0.16	0.05

図3-2 患者住所地別・受診医療機関の内訳(2016~2019年, 診断)



- 仙台市・太白、塩釜、気仙沼…拠点病院の占める割合が低い。
- 仙南、大崎、石巻 …拠点病院の占める割合が高い。

図4-2 患者住所地別・受診医療機関の内訳 上位10施設(2016-2019年, 診断)

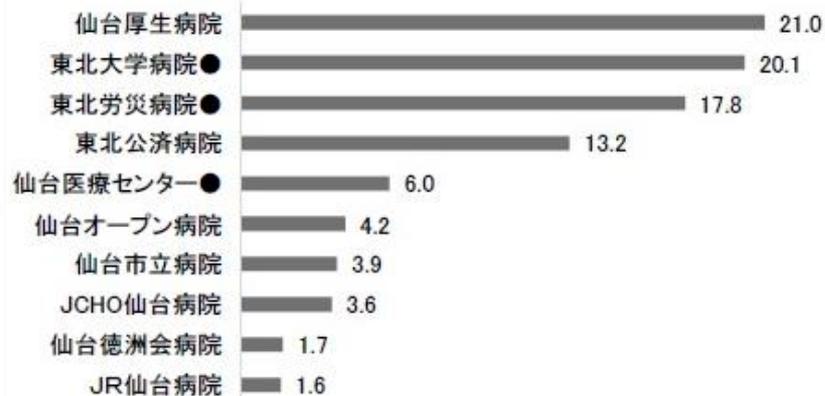
宮城県がん登録情報からの集計結果  
(宮城県がん登録室調べ)

\* 上皮内がんを含む。死亡者情報票のみで登録された症例(Death Certificate Only: DCO)を除く。県外の施設を除く。

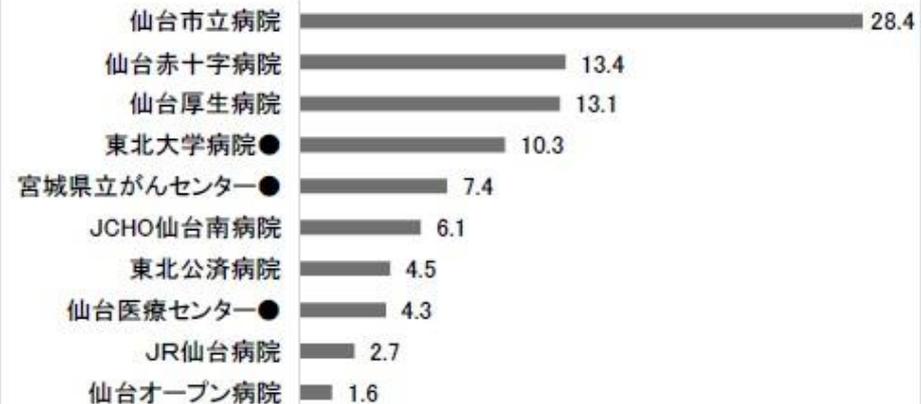
●がん診療連携拠点病院

単位(%)

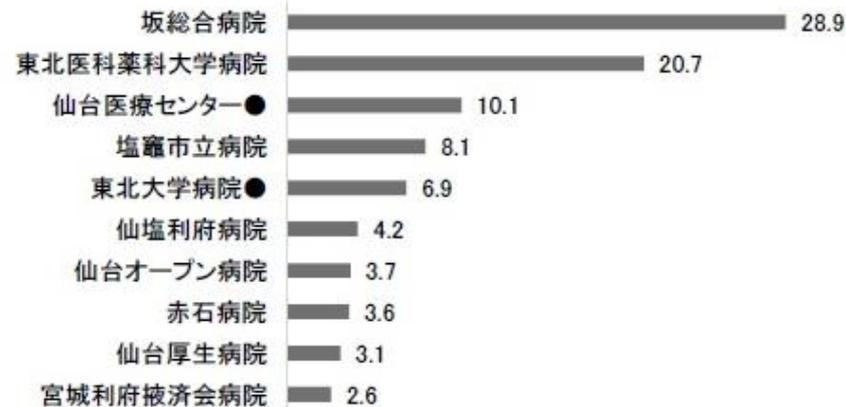
仙台市・青葉



仙台市・太白



塩釜



気仙沼



図4-2 患者住所地別・受診医療機関の内訳 上位10施設(2016-2019年, 診断)

宮城県がん登録情報からの集計結果  
(宮城県がん登録室調べ)

\* 上皮内がんを含む。死亡者情報票のみで登録された症例(Death Certificate Only: DCO)を除く。県外の施設を除く。

●がん診療連携拠点病院

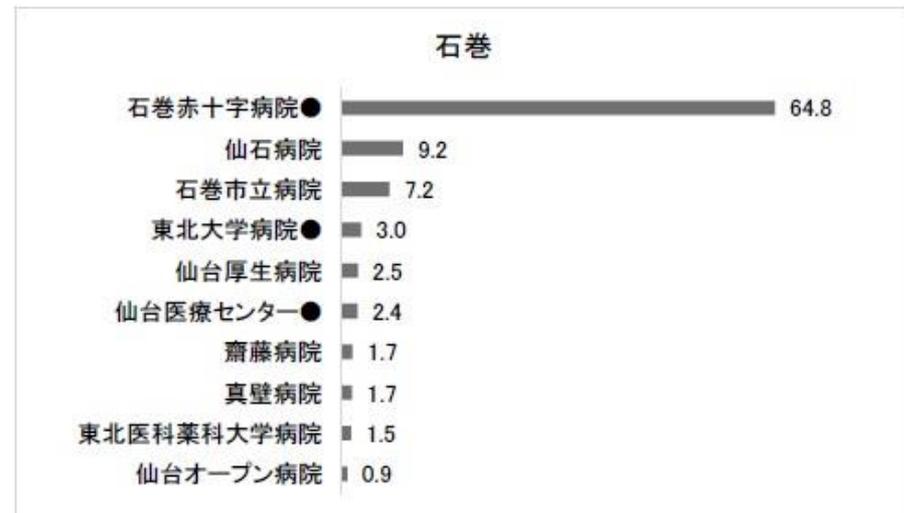
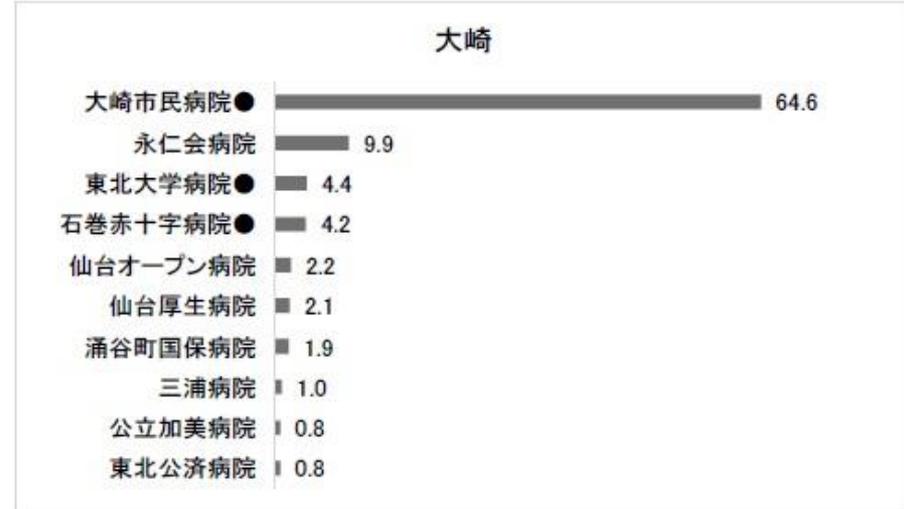
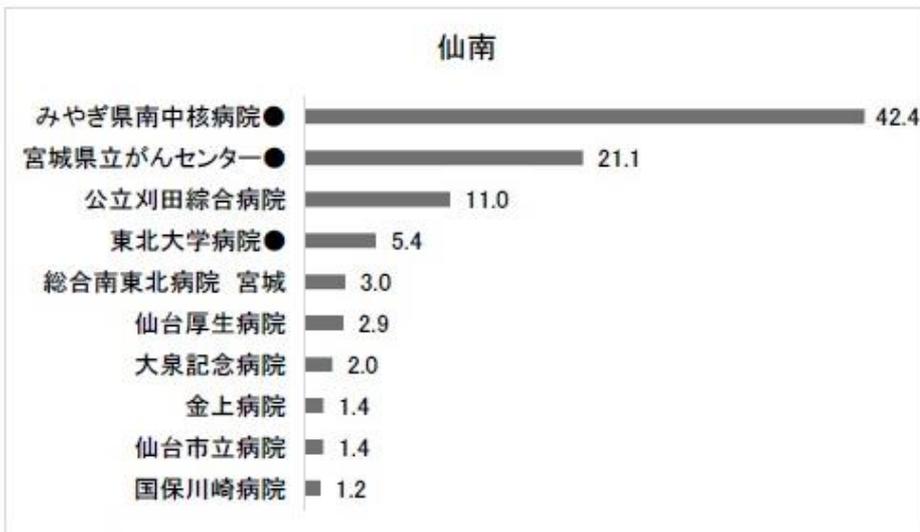
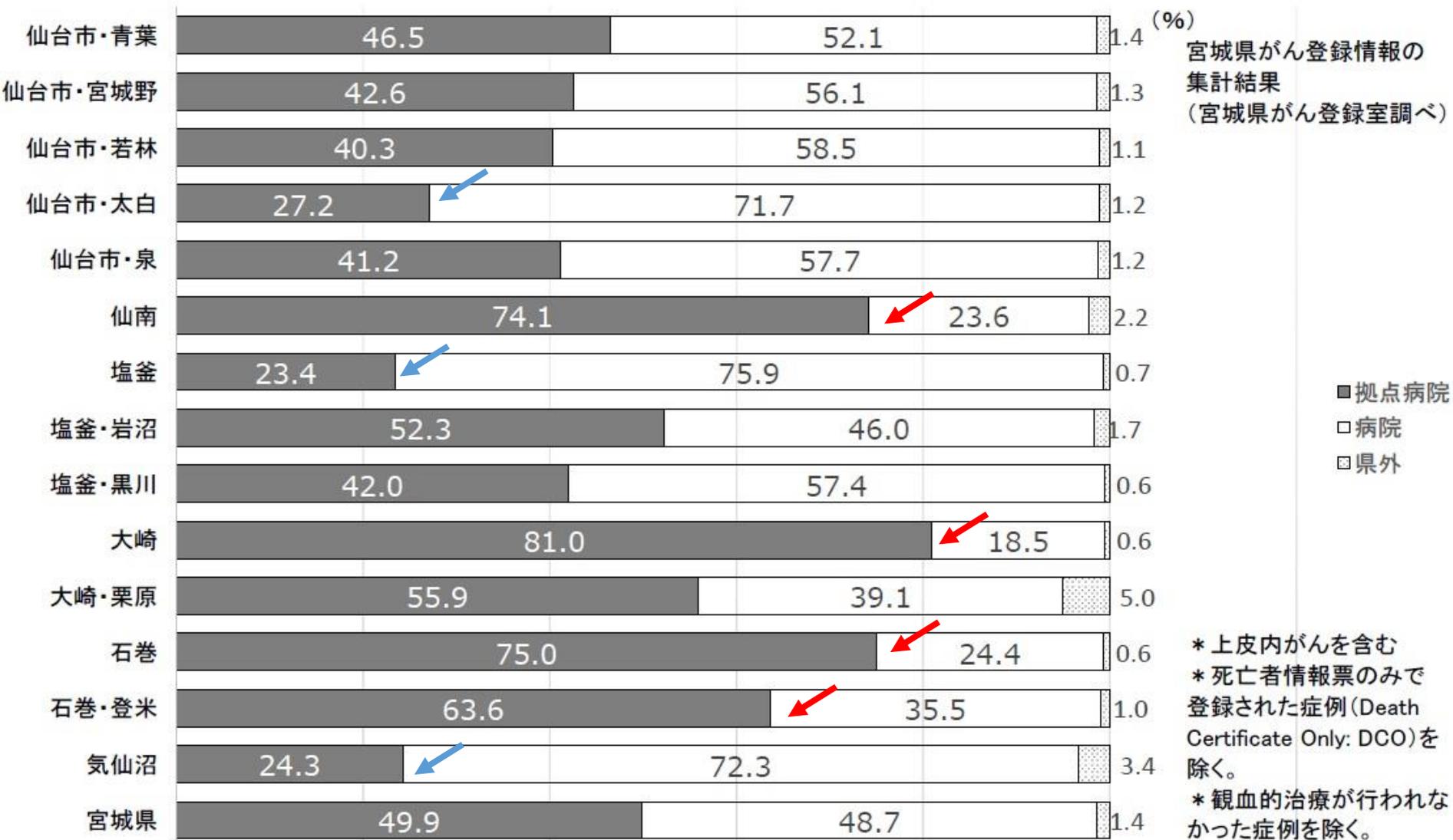
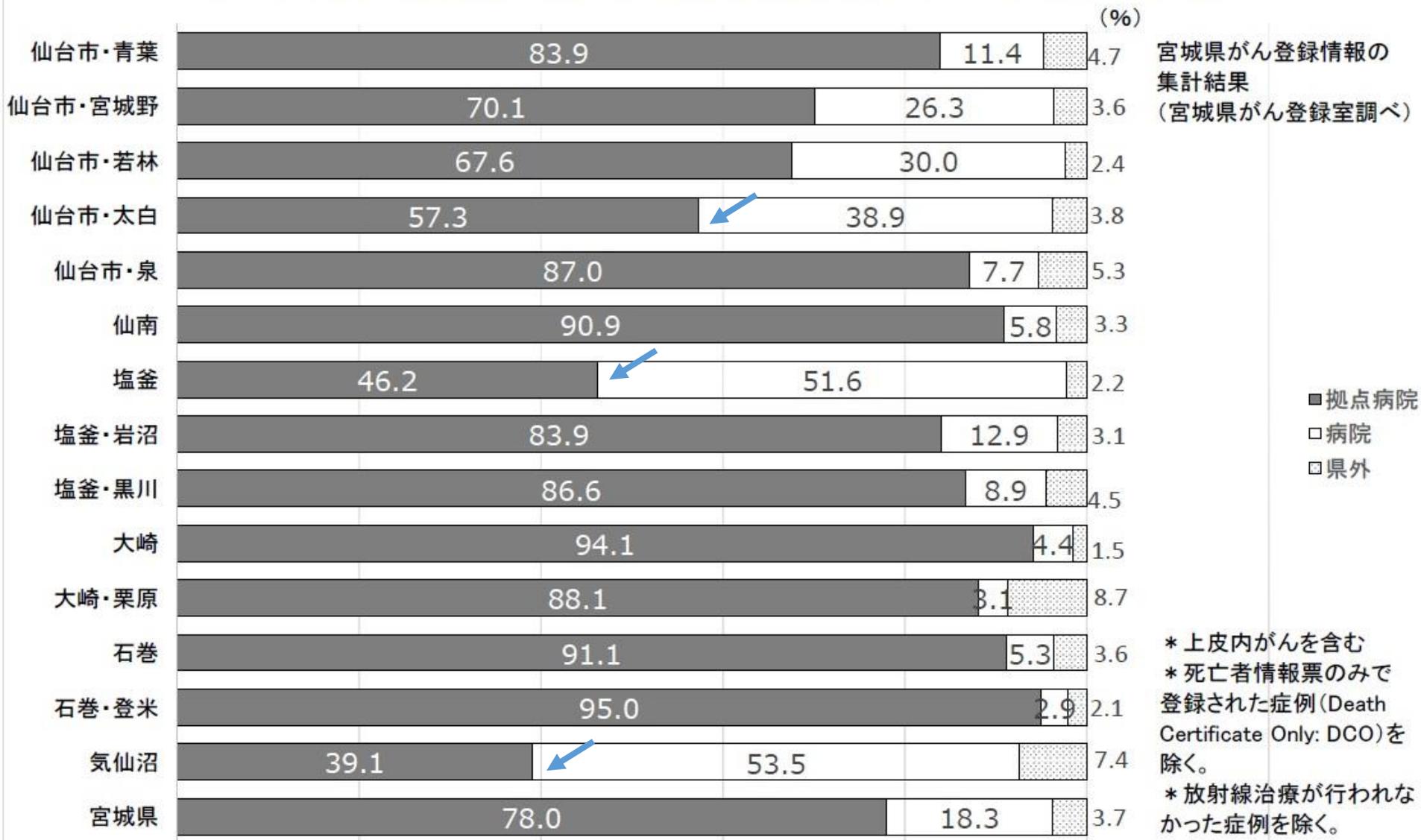


図3-3 患者住所地別・受診医療機関の内訳(2016~2019年, 観血的治療)



- 仙台市・太白、塩釜、気仙沼 …拠点病院の占める割合が低い。
- 仙南、大崎、石巻、石巻・登米…拠点病院の占める割合が高い。

図3-4 患者住所地別・受診医療機関の内訳(2016~2019年, 放射線治療)



- 診断や観血的治療とは異なり、多くの地域で、拠点病院の占める割合が高い。
- 仙台市・太白、塩釜、気仙沼…拠点病院の占める割合が低い。